



堺市建築物の総合環境配慮制度

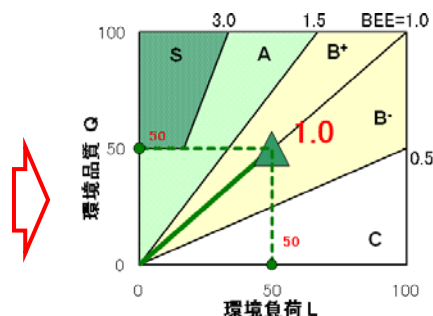
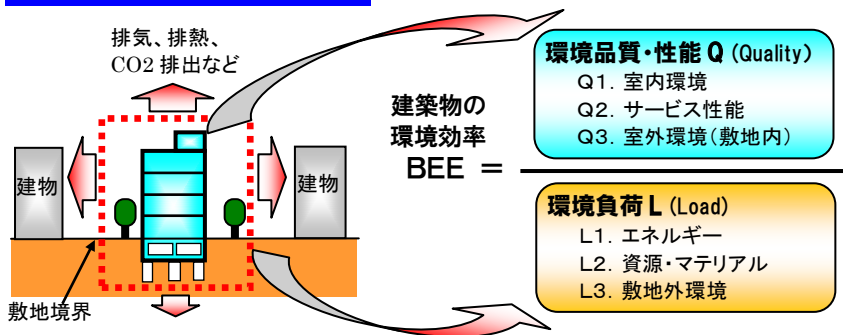
建築環境賞



平成24年度から「CASBEE 堺[※] 建築環境賞」として、環境配慮に優れた建築物の建築主等を表彰します。この表彰は、環境配慮型建築物の普及促進と、低炭素都市「クールシティ・堺」の実現に寄与する意識の高揚を図ることを目的としています。

※延べ面積が2,000㎡以上の新築などを行う場合には届出の義務があります。

CASBEE評価の仕組み



ランク	評価	BEE値ほか	ランク表示
S	素晴らしい	3.0以上かつQ=50以上	赤★★★★★
A	大変良い	1.5以上3.0未満	赤★★★★
B ⁺	良い	1.0以上1.5未満	赤★★★
B ⁻	やや劣る	0.5以上1.0未満	赤★★
C	劣る	0.5未満	赤★

より良い環境品質・性能(Q)の建築物を、より少ない環境負荷(L)で実現しているかを評価します。

詳しくは、(財)建築環境・省エネルギー機構のホームページ(<http://www.ibec.or.jp/>)をご覧ください。

選考対象建築物

CASBEE 堺の届出建築物で、次の全てに該当するものです。

- ・環境配慮への取組みが優れている建築物
- ・建築基準法に定める検査済証が交付された建築物
- ・表彰の前年に工事完了届出書が受理された建築物
(平成26年度は、平成26年12月26日までに受理されたもの)

賞の種類

建築主及び設計者に、次の賞を授与します。

(各賞において相応しいものがない時は、「該当なし」とします)

- ・堺市長賞：特に優秀なもの(Sランク)1点
- ・優秀賞
- ・奨励賞

選考方法

CASBEE 評価がAランク以上で

- ・BEE値
- ・堺市の重点項目シート
- ・特筆する取組内容

について完成した年ごとに選定。

(現地確認を行った上で決定します)

問合せ先

堺市 建築都市局 開発調整部 建築安全課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号(堺市役所 高層館13階)

TEL 072-228-7936 FAX 072-228-7854

建築安全課ホームページ

<http://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/jutaku/kenchiku/shidou/kenchiku/index.html>

行政資料番号 1-J4-14-0245

CASBEE堺

【平成27年2月 発行】

第3回

建築環境賞

受賞建築物の概要

奨励賞

三井不動産 ロジстикspark 堺 (MFLP 堺)

建築主	堺築港八幡特定目的会社 プロジェクトマネージャー 三井不動産株式会社	
設計者	新日鉄住金エンジニアリング株式会社 西日本支社一級建築士事務所	
延べ面積等	133,090.76㎡(鉄骨造 地上5階)	
CASBEE評価	Aランク (BEE値 2.0)	
堺市の 重点項目 シート	CO ₂ 削減	桜4個
	省エネ対策	桜4個
	みどり・ヒートアイランド対策	桜3個
	安全快適な暮らし	桜3個



三宝 IC に隣接し広域配送にも適した利便性の高い立地を生かした、複数テナントが入居する 5 階建ての最新鋭の大型物流施設である。大型トラックがランプウエイを利用し各階に接車ができ、周辺道路への交通負荷抑制を行っている。建物環境対応としては、屋上に出力 2MW の太陽光発電パネルの設置・電気自動車の充電スペース等の設置に加え、既存樹木林を保存し未来に繋げる配慮も行っている。また、地震対策（免震構造）、高潮・津波対策（地盤高上）、停電対策（非常用発電機 48 時間対応）等の B C P 対応を講じると共に、インフォメーションモニターを設け、来館者・館内従業者へこれら施設の取組を紹介し安全安心にも配慮され波及効果が期待される。

奨励賞

ブレイズ堺 光明池

建築主	三交不動産 株式会社 山陽電気鉄道 株式会社 株式会社 長谷エコーポレーション	
設計者	株式会社 長谷エコーポレーション 大阪エンジニアリング事業部	
延べ面積等	22,732.49㎡(RC造 地上15階)	
CASBEE評価	Aランク (BEE値 1.9)	
堺市の 重点項目 シート	CO ₂ 削減	桜4個
	省エネ対策	桜4個
	みどり・ヒートアイランド対策	桜3個
	安全快適な暮らし	桜3個



「近い」メリットを実感できる駅前生活の「理想」を目指す便利さと、自然環境の良さが両立実感できるロケーションに建設された集合分譲住宅であり、住宅性能表示制度の設計住宅性能評価において省エネルギー対策等級 4 を取得しており、高い断熱仕様による室内温熱環境と潜熱回収型給湯器・節水型衛生器具・LED 照明等、環境性能が高いシステム採用に加え、住戸壁面と外壁・戸境壁との間に空間を確保し配管・配線を躯体に埋め込まないことでリフォームを容易にするなどの環境負荷低減配慮を行っている。また、非常用飲料水生成システム・マンホールトイレ・かまどツール等の設備を設置するなど防災に対する取組みについても波及効果が期待される。